

伝統文化にチャレンジ

お正月あそび大会



読み手の声に集中して



バドミントンのようにはできないよ

かるたや羽根突きなど、新年定番の遊びを楽しむ「お正月あそび大会」が1月9日、幼稚園児から小学5年生まで8人が参加し、子ども館で開催されました。子どもたちは2グループに分かれ「お茶犬かるた」「江戸いろはかるた」「ドラえもんかるた」「成田ふるさとかるた」を行い、かるたの後は表に出て「羽根突き」を楽しみました。お正月は、コンピュータゲームより古来からの「お正月遊び」が似合います。

久住地区一周駅伝大会

声援を背に 全力疾走

久住地区の冬の恒例行事「久住地区一周駅伝大会」が、1月9日に開催されました。参加したのは、同地区の住民192人・8チーム。晴天のもと、家族や地元住民の声援を受け、選手たちが健脚を競いました。結果は次の通りです。

優勝 飯岡・大生地区
準優勝 小泉地区
第3位 荒海地区



優勝を決めてガッツポーズ

新春交通安全出動式

事故撲滅を誓って



関係者に見送られ一斉に出動

警察や周辺自治体などが交通安全に向けた取り組みを確認し合う「新春交通安全出動式」が1月21日、大和相撲道場駐車場で行われました。成田警察署によると、1月16日には雪に絡んで通常の4倍の約80件の事故が発生。参加した9団体・約120人は、路面凍結が発生しやすい季節の交通安全などを確認していました。

警察や周辺自治体などが交通安全に向けた取り組みを確認し合う「新春交通安全出動式」が1月21日、大和相撲道場駐車場で行われました。成田警察署によると、1月16日には雪に絡んで通常の4倍

蘇るハニワ展

古代の造形美を堪能



古代人の生活に思いをはせて

南羽鳥正福寺1号墳からの出土後に修復を施された、市指定文化財の埴輪を中心に展示する「蘇るハニワ展」が、下総歴史民俗資料館で3月13日まで開催されています。展示されているのは、ムササビ、ボラ、ニワトリなどの動物や、人物を形どったもので、中でもムササビ型は全国でもほかに出土例がない、珍しい埴輪です。訪れた人たちは、陳列されたそれぞれの埴輪の前で足を止め、精巧に作られた“古代の芸術品”に見入っていました。

高齢者叙勲

旭日単光章

稲葉 實さん
(津富浦)

○元大栄町議会議員



下総地区マラソン大会

寒波に負けず健脚を競う



親子レースで元気にスタート

12月末からの厳しい冷え込みが続く1月15日、「下総地区マラソン大会」が小学生から一般まで延べ288人が参加して下総運動公園で行われました。競技開始時の気温が氷点下というコンディションでしたが、参加者は1kmから2kmまでの各部門に分かれ、公園内のサイクルロードで健脚を競いました。

鯉切りビシャ

古式にのっとり五穀豊穡祈願



豊作だ!と声高らかにアラレをまく

1月から2月にかけて行われる農村祭事のオビシャ。1年間守ってきた大切な御神体の受け渡しをする儀式ですが、市内にはいろいろな形のオビシャが残っています。中でも珍しい「鯉切りビシャ」が1月16日、新妻の諏訪神社で行われました。玉串の奉納に続いて鯉切りの儀式が行われ、御神体を守ってきた当番の家から選ばれた鯉切り役の子どもが、袴姿で包丁とはしを使い生きた鯉を調理。最後に、参加者が「豊年だ」「万作だ」と叫びながらアラレをまいて儀式は終了します。オビシャは時代とともに簡略化されてきていますが、「鯉切りビシャ」は、今でも地区の大切な行事として受け継がれています。